



### まちなかにぎわい再生方針について問う

齊藤 貢一 議員



**質問** 中心市街地活性化基本計画が令和3年に終了して、立地適正化計画、都市計画マスタープラン、そして、まちなかにぎわい再生方針に引き継がれたと思えますが、まちなか再生重点エリアの人口目標は、どのようなものか伺います。

**質問** 上位計画である立地適正化計画の居住誘導区域における目標と同じ1ha当たり39人としています。

**質問** マスタープランでは地域別構想として、旧8地区の目指すまちづくりを挙げており、館林・六郷地域を除いて、「居住環境と地域コミュニティの活性化」を基本方針としていますが、

適正化計画の居住誘導区域における目標と同じ1ha当たり39人としています。

**質問** マスタープランでは地域別構想として、旧8地区の目指すまちづくりを挙げており、館林・六郷地域を除いて、「居住環境と地域コミュニティの活性化」を基本方針としていますが、

外国人世帯や空き家の増加によるコミュニティの崩壊については、どのように考えますか。

### 市長就任後、3年半の反省点と今後について



吉野 高史 議員



**質問** みこしは軽くて〇〇がいいの総集編として、私

くるくる〇〇がお尋ねします。選挙公約の3年半の反省点と今後について端的にお答えください。

**質問** 反省点とは理解できませんか。公約に掲げている中途半端だった事、頓挫した事を言います。あなたが答弁で、イの一番に反省点を言うのであれば、須藤市長は合併のできない市長、私は何が何でも合併させますと言っていました。が、できなかつた事です。」と言えないですか。反省点は、

いいですか、私が聞いたのは、合併を何が何でも進めると言いながら、頓挫した事が最大の反省点と

いうことなのです。私の言うている事が分からないように

なので、次の反省点についてですが、公約35項目のうち、第6次総合計画と違う

のは何点あるのですか。

**答弁** 第6次総合計画における取組状況を踏まえた公約の達成率は71・4%が達成または計画進行中です。一部進行中、検討中というもの、今後やらなければならぬ事として反省点になると思っています。また、板倉町との合併問題については、私自身は広域連携の上での発言でした。

**質問** 今の答弁では、市長自身が合併をできなかった事、市民との公約ができな

かった事を反省していない。車座市政報告会での反省点、市民から色々な意見が出たと思うが、どのようなものがあつたのか。

**答弁** 車座市政報告会では、色々な話がありました。反省点というよりも地域要望が主な点です。

**要望** 議長は、車座報告会については、質問項目に入っていない等と私を責めた。市長に対し、シッカリと答弁をするよう、ジャッジする事を要望します。

**答弁** 選挙公約35項目中、進行中が25項目、一部進行中が5項目、検討中が5項目14・3%です。

委託的な対応を参考に検討したいと考えています。

**質問** まちづくり会社として、館林市内企業等8社による「一般社団法人アーバンデザイン」が設立され、市としても1000万円の運営経費と社員2名を派遣していると思います。駅西口の区画整理施行区内の市有地493・01m<sup>2</sup>が公募により優先交渉権者が決まりましたが、賃貸料収入については、まちづくり会社に入るのか伺います。

**答弁** 賃貸料収入については、まちづくり会社に入る事になりません。区画整理事業終了後に有償貸付にする方向で考えています。

**要望** 利益は市街地推進に使うとのことだが、監査、公開等、また、市民の理解を得るためにも、公益社団法人として、都市再生推進法人に認定した上で、市有地管理運営、また、駅東の活性化等、公共に寄与する会社としてオープンな運営を願います。